

財団法人横浜企業経営支援財団

立命館大学と産学連携協定を締結

財団が進める「広域的産学連携システム」の

IDEC+関関同立ネットワークが完成！

**IDECの京阪神私学
産学連携システム稼働！**

(財)横浜企業経営支援財団(理事長 清水利光) IDEC は、横浜市内企業の経営を支援する唯一の公的支援機関として、総合的・継続的な支援体制による事業を積極的に展開しており、昨年度からは経営支援体制の充実・強化を図るため、金融機関(3大メガを含む6金融機関)や(株)知財マネジメント支援機構、市外大学(東海大学)、県外大学(早稲田大学、同志社大学、関西大学、関西学院大学、山口大学、高知大学)と戦略的業務提携を締結してまいりました。

本日、日本で最も先進的かつ実践的な産学連携活動を行っている立命館大学と産学連携に関する協定書を締結いたしました。

立命館大学は、1900年創立。法、産業社会、国際関係、政策科学、文、映像、国際インスティテュート、経済、経営、理工、情報理工、生命科学、薬学、文理総合インスティテュートの12学部 2インスティテュートから成ります。生命科学、薬学部は08年に設置。10年にはスポーツ健康科学部を設置する予定です。学部学生数33,013名を擁します。

1995年には全国でもいち早くリエゾンオフィスを立ち上げ本格的な産学連携活動を開始しています。05・06年には経済産業省の産業界から見た産学連携大学ランキング1位獲得しています。同大の産学連携は教員と職員が連れ立って企業へ最適な提案をする「コンサルタント型」と研究開発、研究プロジェクト管理、知財マネジメント、インキュベーション機能を一カ所に対応する「ワンストップサービス型」に特徴づけられます。

財団はキックオフイベントとして私学最大規模の4学部を擁する立命館大学の理工系学部のシーズを横浜企業に情報提供するため4月30日(木)に立命館大学特別産学交流サロンを開催します。立命館の誇るSR(放射光)センター、機械工学、ロボティクス、生命工学、環境システム工学系、メディア情報系のシーズを紹介等の分野から横浜企業の関心の強い選りすぐりの5テーマに絞り、技術発表を行います。

財団を中心とした全国初の広域的産学官連携システム(横浜をベースとした、全国の大学と市内企業を結びつける産学連携体制)のさらなる拡充に向けた立命館大学との連携によって関関同立との京阪神産学ネットワークを確立いたしました。

今後は全国の国立大学へネットワークを広げ、キメ細かく質の高い支援体制を構築することで市内中小企業が抱える経営課題の解決及び企業経営の安定と発展に向けて各種事業を強力に推進してまいります。

※詳細につきましては、裏面をご覧ください。

別紙

1 立命館大学の横浜市をコアにした首都圏における産学官連携の推進

立命館大学が保有する研究シーズの市内企業での事業化を目指した研究推進体制の編成、ならびに知財の流通や新たな技術開発を促進し、産学官による地域連携を推進します。

- (1) 立命館大学保有の特徴ある研究シーズと横浜市内企業のニーズのマッチングを双方の産学連携コーディネータを通じて行います。
- (2) 財団主催の産学交流サロン、テーマ別研究会等への立命館大学講師派遣、テクニカルショウヨコハマへの出展、立命館大学主催の産学連携関連イベントへの参画など相互協力を行います。
- (3) 財団は立命館大学発ベンチャー企業の横浜での活動を支援します。

2 立命館方式産学連携事業の推進

立命館大学の研究シーズを横浜市内企業を対象に実用化を展望した技術説明会を定例的に開催します。

第一弾は4月末に連携金融機関「りそな銀行」の協力を得ながら、5名の研究者を招聘し次の通り広く実施企業・共同研究パートナーを募ります。

立命館大学特別産学交流サロンの開催

- (1) 日時 平成21年4月30日(木) 13:30-18:30
- (2) 会場 財団法人 横浜企業経営支援財団 横浜情報文化センター 情文ホール
横浜市中区日本大通 11 番地
- (3) 定員 200名
- (4) 参加費 無料 (情報交換会費 1,000円)
- (5) プログラム
 - ① 立命館大学のリサーチオフィスの活動について
 - ② 立命館大学研究シーズ紹介 (30分×5テーマ)

◎立命館グローバル・イノベーション研究機構教授、SRセンター長 太田俊明

【発表】 小型放射光の産業利用

【研究テーマ】 放射光軟 X 線を用いた物質科学の研究

◎理工学部 機械工学科教授 谷泰弘

【発表】 機械加工工具を手作りする

【研究テーマ】 機械加工工具の高性能化に関する研究、加工品質の評価に関する研究、高性能研磨技術に関する研究

◎生命科学部 生物工学科教授 今中忠行

【発表】 超好熱菌によるバイオマスからの水素生産

【研究テーマ】 超好熱菌を利用した効率的な水素生産、南極由来の微生物による共生解析など

◎情報理工学部 メディア情報学科教授 陳延偉

【発表】 ドリル刃先の自動検査装置「ドリルインスペクター」の開発

【研究テーマ】 知的画像処理と画像理解・認識及びその応用

◎情報理工学部 知能情報学科教授 篠田博之

【発表】 人に優しい照明

ー新しい明るさ感指標 Feu (フー) と高齢者用照明 CRS の事例からー

【研究テーマ】 心理物理学的手法を用いた視覚情報処理の研究、
色彩工学・照明工学におけるヒト志向のモノづくり支援

- ③ 立命館大学技術リエゾン (シーズ紹介後の企業相談)
- ④ 立命館の選りすぐった技術シーズのポスターセッション
- ⑤ 情報交換会

3 財団が保有する産学官－金融連携ネットワークの活用

財団が進める知財マネジメント支援機構や金融機関との戦略的提携による産学官－金融連携ネットワークの構築を通じて、産学連携の機会創出から技術評価、融資までのワンストップ支援を行います。立命館大学が「横浜産学リエゾン会議」（連携 15 大学を中心とする産学連携事務局ネットワーク）に参加し、財団のネットワークの拡大・強化をはかります。

4 「横浜産学連携サテライト」の活用

平成 21 年度に設置する「横浜産学連携サテライト」でのミニ技術説明会、TV 会議システムを通じた技術相談、マッチングを通じて、立命館大学と横浜企業との連携を図ります。

